

第3号様式

令和5年度第4回船橋市市民活動サポートセンター運営協議会 会議録

(令和6年3月28日作成)

- 1 開催日 令和6年3月28日(木) 13時30分～15時30分
- 2 開催場所 市役所本庁舎9階 第1会議室
- 3 出席者 (1) 柿崎委員、廣田委員、森委員、斉藤委員、田久保委員、川島委員
齋木委員、西野委員、谷山委員、海老田委員、依田委員、南山委員
谷合委員
(2) そのほか関係機関 船橋市ボランティアセンター 八東氏
(3) 事務局 市民協働課 松丸市民協働課長 石毛市民協働課長補佐
矢田市民協働係長 富沢主事、小山主事
- 4 欠席者 柴田委員
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由
 - (1) 各部会の報告
 - ① 広報部会
 - ② 団体支援部会
 - ③ 市民参加部会
 - (2) 事務局報告 ※全て公開
- 6 傍聴者数 0名
- 7 決定事項 ※【 】は発言者
 - (1) 広報部会
 - ① 説明
資料1 活動報告書に沿って活動内容を説明【西野委員】
資料2 に沿って運営協議会 X の状況報告【海老田委員】
 - ② 質問と回答

質問：資料2中の各項目の数値がどのような数値を表しているのか説明をしていただきたい。【森委員】

回答：「インプレッション」が閲覧数、「エンゲージメント」が閲覧数のうち画面を開く等のアクションを起こした数、「エンゲージメント率」はインプレッションに対するアクション数の割合、「リツイート」はメールでいうと転送した数、「返信」は投稿に対して何かしらの返信があった数、「いいね」は投稿にハートマークを押した数、「プロフィールクリック」がアカウントの詳細を確認した数、「URLクリック」が本文に含まれているURLをクリックした数を表している。【海老田委員】

質問：データ分析をするにあたり、どの項目の数値を確認すればよいか。

【森委員】

回答：一番分かりやすいのは「インプレッション」の数値である。

続いて、「エンゲージメント率」が重要である。

費用対効果を図るのは「エンゲージメント率」であり、広告の指標としてエンゲージメント率が9%以上あると優良な数値と言える。

インプレッションとエンゲージメント率をどちらの数値も増やしていけるように漫画の活用等、新たな取組みを試みている。

【海老田委員】

質問：市民活動サポートセンター運営協議会Xの目的の1つとして、投稿を見た方をふなばし市民力発見サイトに誘導をすることがある。

しかし、誘導した先のふなばし市民力発見サイトが見やすいサイトになっているだろうか。広報部会ではサイトの改善について検討されているか。

【斉藤委員】

回答：現状、そのような話し合いはできていない。【海老田委員】

意見：誘導先が見やすいサイトになっているのかを検討していただきたい。

【斉藤委員】

意見：発見サイトへのつなげ方等について思考錯誤をしながらよりいいものにしていきたい。【谷山委員】

質問：リポストを開放した理由は何か。【柿崎委員】

回答：リポストを実施することにより、閲覧数が増えるだろうと見込みをたて実施したところフォロワーが増える等の効果があった。【谷山委員】

③ 決定事項

報告書類の内容が承認された

③ 今後の課題

—

(2) 団体支援部会（活動内容の報告）

① 説明

資料3、4に沿って部会活動の説明【廣田委員】

資料5、6に沿って、部会活動の説明【事務局】

② 質問と回答

質問：相談窓口の改善案の中で内容によっては即時解決可となっているが、現時点でもセンター職員は回答可能なのか【南山委員】

回答：ルールはなく、質問を受けた場合はその場で解決している例もある。
【事務局】

意見：予約制であること、「相談会」という言葉にハードルが高く聞こえるため、気軽にセンター職員に相談ができるのは良いことだと感じる。【南山委員】

質問：相談員を常駐できるのが一番良いが、センターには相談の聴き取りシートみたいなものはあるのか。

相談内容に応じた聴き取りシートがあれば、相談員がいなくてもセンター職員が相談内容を聞き取ることができ、そのまま課に共有すること等で速やかに回答できるのではないか。【谷山委員】

回答：現状、聴き取りシートはない。

一時対応でしっかり聞き取ることが重要であることはご指摘のとおりである。【事務局】

意見：センター職員が聴き取りシートを使用し、聴き取りを行った際はその後どのように回答がなされるかについて、相談者にしっかりと説明することが大切だと考える。【森委員】

意見：センターにおける相談機能が弱いと感じる。

センターで相談対応を受けることは極めて重要なことではないか。

今後の相談対応の在り方について摸索をしていきたい。【齊藤委員】

③ 決定事項

報告書類の内容が承認された

④ 今後の課題

—

(3) 市民参加部会

① 説明

資料7～9に沿って部会活動の説明

パネル展示は申込みが少なかった8月のみ追加募集をする予定である。

【谷合委員】

② 質問と回答

意見：地域課題に取り組む市民団体の紹介ポップを作成する企画は良いと考える。

このような企画を市民活動フェア内で実施すると一般市民をより巻き込めるのではないか。【田久保委員】

回答：次年度は参加体験型のフェアを目指している。

参加体験型のフェアにふさわしいような企画を取り込んでいきたいと考えている。【谷合委員】

質問：パネル展示を毎月実施しているが、パネル展示期間が終了したら団体を集め、振り返り会を企画していただきたい。【齊藤委員】

回答：団体同士で交流したいという声はアンケートから分かっているため、交流を持つ機会をつくることは必要だと感じる。【事務局】

意見：展示パネルを活用し、パネルディスカッションをするのも良いと考える。

【廣田委員】

回答：市民参加部会で検討する。

今回の募集では出展団体に事前に案内できていないため、参加必須とは

できないだろう。【谷合委員】

意見：パネル展示はエスカレーターホールで展示できると良い。【谷山委員】

回答：エスカレーターホールは予約制のため、予約の空き状況を確認のうえ課内で検討する。【事務局】

意見：総合窓口センターに来た方がセンター内に散歩に来てもらえるような外向きなアプローチが必要ではないか。【森委員】

質問：夏休み親子ワークショップはどのように市民活動に関連付けることを検討しているか。【柿崎委員】

回答：資料7部会報告書に記載のとおり、船橋に関する子供新聞づくりや市民活動団体の紹介ポップづくり、活動地域の紹介マップづくり等の市民活動に紐づけた制作系ワークショップを検討している。【谷合委員】

③ 決定事項

報告書類の内容が承認された

④ 今後の課題

—

8 その他

第7期市民活動サポートセンター運営協議会委員を4月上旬から募集開始予定。

9 問い合わせ先

市民生活部 市民協働課 電話番号：047-436-3201